

(公社) 日本地すべり学会関東支部 平成 29 年度基礎技術現地見学会 「地すべりの基礎を学ぶための現地見学会」 開催報告

1. 実施概要

関東支部では、地すべりに関心のある学生や、地すべりに関する基礎知識を深めたい技術者の方々を対象として、現地見学会を開催しました。

現地見学会は、専門スタッフから地すべりについて話を聞いた後、現地で実際の地すべり現象や防止対策の状況を見ることにより、地すべりに関する基礎技術を学んでもらうものです。現地見学会は、神奈川県及び相模原市の協力を得て、平成 23 年 9 月の豪雨により地すべり活動がみられ対策が行われた名倉地区で行いました。ここでは、この現地見学会の概要について、報告します。

- (1) 開催日：平成 29 年 9 月 22 日（金）
 - (2) 開催場所：神奈川県相模原市緑区名倉地内
 - (3) 主催：(公社) 日本地すべり学会 関東支部
 - (4) 協力：神奈川県県央地域県政総合センター農政部森林土木課・相模原市都市建設局道路部津久井土木事務所
 - (5) 参加人数：35 名（うちスタッフ 5 名）
- * この現地見学会は、若手対策費（会員数対策 WG 計上分）支出事業として行っております。

2. 現地見学会の内容

午前の講義では、関東支部技術委員の上野将司氏に「地すべり調査に際して役立つ知識」と題して地すべりの基礎をお話いただきました。講義の内容は、地すべり現象の特徴とそれらを見抜く観察力を養うための注意点や、地形判読や地質及び変状観察の大切さ、データに基づく崩壊の予測と経験談、対策工選定上の留意点など、約 2 時間の講義があつという間に感じられるほど充実したものでした。

午後は、相模湖沿いの更新世段丘堆積物が分布する集水地形で発生した地すべり変状と対策施設を見学した後、室内に戻り調査観測機器を間近に触れてもらう機会を設けました。

現地見学会は、集水井や排水ポーリングなど地下水排除の対策工や、溪岸浸食防止の大型フトンカゴなど一通り見ていただきました。地すべりの変状は、道路の補修などにより全容を見ることはできませんでしたが、傾いたガードレールや擁壁の開口亀裂状況などからすべりの様子を見ていただきました。

観測機器に触れる時間は、会場がやや手狭でしたが、距離感が近く落ち着いた雰囲気の中、活発な質疑が行われ非常に有意義な機会となりました。

3. おわりに

関東支部では、今後も現場に密着した現地検討会や学生・若手技術者の育成をテーマとした活動

を実施していく予定です。

最後に、現地見学会の開催にあたり、ご協力いただいた神奈川県県央地域県政総合センター農政部森林土木課と相模原市都市建設局道路部津久井土木事務所の関係者各位、会場をお借りした藤野中央公民館の方々には大変お世話になりました。ここに記して、厚くお礼申し上げます。



写真-1 午前中の講義



写真-2 地すべり現象の現地見学



写真-3 集合写真（午後の会場にて）
（関東支部幹事会 谷本 彰・林 一成）